

共 産 党 再 要 望 項 目 一 覧

平成28年度9月補正分

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
1. 美保基地への空中給油機配備について	
<p>新空中給油機（KC46A）が美保基地に配備されることが防衛省から伝えられたが、安保法制にもりこまれた集団的自衛権行使によって、日本防衛とは関係のない戦争をしている米軍の戦闘機やオスプレイに空中給油する可能性があり、政府もそれを否定していない。日本防衛どころか、鳥取県が戦争の出撃地となり、戦争相手国から狙われ、危険にさらされることになる。そして、美保基地に勤務し、鳥取県に住んでいる自衛隊や若者を戦争に送るわけにはいかない。美保基地への新空中給油機の配備を中止するよう求めること。</p>	<p>8月30日に防衛省から本県に対し、配備に係る事前説明があった。 外交・防衛問題は、国の専権事項であるが、住民の皆様の生活環境にも関わる重要な事柄であり、地元境港市、米子市や県議会等と協議しながら、安全性や静ひつ度など、十分な検証を求め、慎重に計画内容等を精査、検討していく。</p>
2. 森林林業関係予算について	
<p>「森林林業加速化基金」（緑の産業プロジェクト事業）がなくなり、事業の年度内完成が求められる単年度の補助金制度となったが、雪が降って、冬場の事業施工がしにくい鳥取県にとっては使いにくい。従来の基金制度の復活を求めること。また今回のH28年度経済対策事業は、繰越できるよう求めること。</p>	<p>本年7月に実施された国要望において、現行の森林整備加速化・林業再生基金制度の後継基金制度、若しくは基金制度に準じた自由度の高い補助制度を創設することについて要望活動を実施したところである。また、国の平成28年度第2次補正予算において措置される予定の合板・製材生産性強化対策については、繰越可能であると聞いているが、国に対しても要請していく。</p>
3. 鳥取空山のポニー牧場への支援を	
<p>子どもや若者の居場所となり、利用も増加している。しかし宿泊施設がないため、分散しての宿泊とならざるを得なくなっている。宿泊施設整備に支援すること。</p>	<p>NPO法人が主体的に取り組みされており、現時点具体的な要請等はないことから、県として支援することは考えていない。</p>